



未完の独立宣言

2・8朝鮮独立宣言から100年

在日本韓国YMCA編

12月23日発売

◆四六判・並製・280頁・本体2500円

独立を宣言するとはいかなる営みか。
現代にも届くその力を、多角的に考察する。

1919年2月8日、東京・在日本東京朝鮮基督教青年会館（現・在日本韓国YMCA）から、朝鮮人留学生たちによって世に叩きつけられた「2・8朝鮮独立宣言」。宣言を主導した留学生たちの活躍やネットワーク、キリスト教との関係、当時の植民地統治のありよう、ジェンダーへの視点などを多角的に考究し、現在も尽きせぬ宣言の力を浮かび上がらせる。巻末には2・8独立宣言、3・1独立宣言の日韓対訳と関連ブックリストを付した。寄稿者〓小野容照、尹慶老、波多野節子、宋連玉、裴始美、太田哲男、松田利彦、徐正敏、金興洙、李省展、マイケル・シャピロ、金性済、佐藤飛文、佐藤信行、田附和久。

●関連の既刊書

韓国キリスト教の受難と抵抗

韓国キリスト教史1919-45 韓国基督教歴史研究所編／蔵田雅彦・韓哲義訳

日韓キリスト教関係史資料Ⅱ

1922-1945 富坂キリスト教センター編

◆A5判・380頁・本体4600円

◆A5判・880頁・本体14000円

宣言書

全朝鮮青年獨逸國在俄二十萬朝鮮民族代表代表
正統自由由勝利獲得世界萬國之獨逸國
成計其宣言書之序
四十三百年前長久就歷史是看其七吾族之實在世界最
古文明民族之一可計其有時字支那之正統是也
七有外此七朝鮮皇室支那皇室外形式外交
之關係不過計其五朝鮮七恒常吾族之朝鮮
統一社國家是失其立憲族之實質之支配是也
日本七朝鮮之關係外有外自覺計其
一千八百九十五年日清戰爭結果日本七韓國之獨立
五先率先承認計其五英美法德俄等諸國之獨立
承認計其此是原全計其五五五五五五五五五五
義言感計其鏡意諸報改革計其國力充實是也
時俄國勢力南下外東洋計其平和七韓國之安全
或存計其日本七韓國之關係計其七

● 12月新規オンデマンド化2点!



荊冠の神学 被差別部落解放とキリスト教

栗林輝夫

◆A5判・545頁・本体7800円

差別を発生させる文化的・社会的メカニズムを精緻に分析し、その批判と克服のためのキリスト教的視座を確立した、日本における解放神学の記念碑的著作。

新約聖書神学I ブルトマン著作集3

R・ブルトマン／川端純四郎訳 ◆A5判・232頁・本体5000円

20世紀聖書学の代表的業績の完訳。第1巻は「新約聖書神学の前提と動機」。イエスの告知と原始教団のケリュグマを歴史学的に解明。『新約聖書神学II』は既にオンデマンド化済み、IIIは在庫あり。



● 10月刊行



主は偕にあり 田中遵聖説教集

田中遵聖／解説・神藏美子 [写真家] ◆A5判・本体3000円

直木賞作家・田中小実昌の父にして、独立教会「アサ会」の牧師であった田中遵聖。長らく眠っていたその礼拝説教集をここに完全復刊。小説『アメン父』『ボロボロ』などをつうじて断片的に知られるのみだった自由で無類な信仰が、「受け」「奪い」「直接する」など独自の表現とともに蘇る。新たに写真家・神藏美子による解説を収録するほか、カラー口絵4頁を付す。

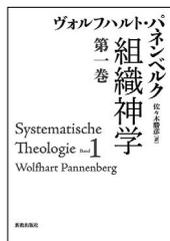
● 9月刊行

組織神学 第一巻

◆A5判・本体9000円

ヴォルフハルト・パネンベルク／佐々木勝彦訳

モルトマンと共にバルト後の神学界を主導したパネンベルク。その主著『組織神学』全三巻(1988—93)は長らく邦訳が待たれていたが、ここについて刊行開始。キリスト教の真理要求を保持しつつ、歴史的省察と体系的省察とを絶えず結合し貫徹しようとする批判的・方法的意識に貫かれた叙述。第一巻では組織神学の本質、キリスト教の真理性的意味、神論を徹底的に論ずる。



ウイリアム・キャヴァノー著／東方敬信・田上雅徳訳
政治神学の想像力 〔仮題〕

国家・市民社会・グローバルゼーションを支配する規律化された想像力を別抉し、もう一つの想像力をキリスト教のストーリーから回復しようとする試み。現代世界を席卷するネオリベリズムにキリスト教はいかに対抗するのか。その可能性を探る新たな政治神学。 ◆四六判・予価2500円

芦名定道著

現代神学の冒険 新しい海図を求めて

『福音と世界』に3年にわたって連載され話題を呼んだ論考の単行本化。断片化・局在化を深めて見通し難い現代神学の動向を「拡張された自然神学」という観点から鋭利に分析し、神学が真に取り組むべき課題群を提示した必読の書。 ◆A5判・予価3200円

ヴォルフガング・フリーバー著／佐藤司郎・本部尚志・小嶋大造訳
正義と法 キリスト教法倫理の基本線 〔仮題〕

われわれの全生活に影響を及ぼす法。正しい法とは何か、法と倫理あるいは正義と法はいかに関係するのか。法の神学的基礎を探り、人権を最重要価値として、複雑な現代世界における法治国家のあるべき姿を論じる。著者はキリスト教社会倫理の泰斗、ドイツ福音主義教会監督、またWCCの指導的神学者として活躍した。待望の邦訳。 ◆A5判・予価9500円

● 11月に出版の本と雑誌

第二コリント書 10—13章

佐竹明著



〔現代新約注解全書〕

緻密を極めた世界最高水準の第二コリント書注解、待望の第2回配本。10章から13章は、パウロを中傷してコリント教会を混乱に陥れた巡回伝道者ら論敵の言い分に対し、使徒はただ主のみを誇るべきこと、また使徒が苦難を受けるべきことを語り、偽使徒を退けるよう説く。また第三の天に引き上げられた自らの体験を語りつつ、「弱さを誇る」と語る。パウロ神学の核心を究明する。

◆A5判・本体9700円

〔関連の既刊書〕

第二コリント書 8—9章

エルサレム教会への献金問題を中心とする重要箇所。
 佐竹明著

◆A5判・本体7000円

福音と世界

12月号 **ネオリベリズム再考**

◆税込647円

寄稿者：白石嘉治、堅田香緒里、生田武志、大野英士、塩原

良和、河口和也／浜邦彦／土井健司、マニユエル・

ヤン、山口政隆、辻学、内田樹、石井光太、松本

あずさ、長谷川修一、佐藤優

●当初は夏の刊行を予定していた『未完の独立宣言——2・8朝鮮独立宣言から100年』（在日本韓国YMCA編）、一月二三日によく送り出すことができそうです。かつて、植民地宗主国たる日本の首都・東京で、在日本東京朝鮮基督教青年会（現・在日本東京YMCA）の会館を舞台に、朝鮮人留学生たちが独立を宣言しました。それから一〇〇周年を記念しておこなわれた連続講座とシンポジウムの内容を収録したこの一冊は、教科書や副教材として活用されてほしいとの意図をこめた、ていねいな記述によるハندیな本に仕上がりがりつつあり、みなさまのもとにお届けできるのがいまから楽しみでなりません。編集過程で個人的に興味をひかれたのは、独立を宣言するという営みじたいのもつ行為遂行的な力です。かつてジャック・デリダはアメリカ独立宣言を、統治の根拠を自己言及的に措定する効果をもつ行為遂行として分析しました。では、それに比して、二・八独立宣言はどうでしょうか。二・八宣言は、三・一独立運動に影響をあたえたといえ、実際には果たされぬままとなりました。ですがそこで語られた声は、植民地支配の根拠を断ち切る斧、いわば遂行中断的なものとして、いまもこだま

しつづけているのではないのでしょうか。じつさい同書では、かつての植民地支配の実態から逆照射されるいまの日本社会のゆがみと、それにたいして二・八宣言のもつ現在の意義が説得的に論じられます。かつての帝国主義ながらの言説がそこかしこで蘇りつつあるいま、斧を手に取りそれらを一扫すべく、わたしたちは呼びかけられているのです。（堀）

●教皇フランシスコが司式した東京ドームのミサに出席しました。私はプロテスタントの信徒ですが出版社の枠で招いてもらったようです。会場には仏教の僧侶もたくさんおられました。説教の中で教皇は、日本は経済的には豊かだが多くの人が自分の存在意味を見出せず、また社会からの孤立感を感じていると指摘しました。家庭や学校は一人一人が支えられ、また他者を支える場であるべきなのに、利益と効率を追求する過剰な競争意識によって傷ついているとも。天地創造と山上の説教に触れつつ「障がいを持つ人や弱い人は、愛するに値しないのですか。よそから来た人、病気の人の、牢にいる人は、愛するに値しないのですか」と問いかけ、教会は傷ついた人を癒やし、和解とゆるしの道を常に示す野戦病院となろう、と訴えたのが印象的でした。（小林）

福音と世界

2020年
1

A5判・80頁・定価635円・送料70円
年間予約購読料（送料共）8460円

特集・神秘主義の力

神秘主義の系譜と可能性——鶴岡賀雄

神秘主義が照らす現代世界——村澤真保呂

フエティシズムの善悪あるいは「復活の復活」のために——政治神学的覚書——田崎英明

グスタフ・フランクヴァーはわたしだ——永遠は永遠じゃない、いまこそ——栗原康

闇を引き受けること——シモーヌ・ヴェイユの神秘思想——佐藤紀子

ベギンホフと「神秘主義」の女性たち——ヨーロッパの歴史の古層から——上條敏子

【書評】宮田光雄『ボンヘッファー』……柳父園近
【追憶】ウルリッヒ・ルツ教授の死を悼む……佐藤研

【注目の連載】

- ◆くまさんのシネマめぐり 1 ……好井裕明
- ◆教父学入門 5 ……土井健司
- ◆バビロンの路上で 10 ……マニエル・ヤン
- ◆神の酒 10 ……石井光太
- ◆新約釈義 テトス書 10 ……辻 学
- ◆福音書記者たちの饗宴 13 ……松本あずさ
- ◆遺跡が語る聖書の世界 13 ……長谷川修一
- ◆レヴィナスの時間論 57 ……内田 樹